

平成23年度第2回新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成23年9月13日(火) 清瀬市 野塩地域市民センター 第2会議室

項目	内容
I. 議事	
1. 平成23年度新河岸川流域川づくり連絡会の活動について	<p>平成23年度の連絡会活動について、連絡会メンバーによる意見交換が行われた。</p> <p>■主な意見等</p> <p>○新河岸川流域フォーラムの開催について</p> <p>〈フォーラムのテーマ〉</p> <ul style="list-style-type: none">・地震や集中豪雨を起因として想定される新河岸川流域の水害と既存のハザードマップとが、どのように関連しているのかを知りたい。また、総合治水対策や下水道の処理能力等について、地域ごとの問題点を学べる機会になればよい。・災害種別ごとにどのような対応をとるべきかを明確に設定したうえで、フォーラムの内容について検討する必要があると考える。・地震に対する対応(家具の固定等)を含めると話題が広がりすぎるため、水と関係のある災害事象に重点を置いたらどうか。・河川に関する津波の対策は、国の中央防災会議で検討が進められている。津波の対応パターンとしては大きく2つあり、一つは津波に耐えうる施設の整備等による対策、もう一つは想定外力を超えた津波に対する減災対策が挙げられる。・台風による豪雨時など、想定外の水害が生じた際における市町村の早期避難対応や情報伝達の内容等について取り上げてもよいのではないか。・志木地域でみられる「水塚」についても取り上げたら面白いのではないか。地域に災害の文化が根付いているということは重要なことである。・複合的な災害(地震、豪雨等)の想定も必要ではないか。 <p>〈フォーラムの開催会場〉</p> <ul style="list-style-type: none">・会場では、普段見ることができない災害対策用資機材(備蓄している根固めブロックや鋼矢板、重機等)についても確認できればよい。 <p>〈フォーラムの構成〉</p> <ul style="list-style-type: none">・実践企画の時間は、土のうづくりを行わない参加者(休憩する方々等)のために、会場の備蓄資機材や設備等を見学する時間に充ててもよいのではないか。・発表企画については、志木地域の「水塚」、浮間地域の「水屋」等について発表いただくなど、さまざまな方々に参加いただければと思う。 <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none">・都心の場合は、地域の避難所の場所・境界等が分かりにくい。・発災の時間帯によって、都心部は人口の密度が異なるため、被害の規模が大きく異なると思う。・地下鉄等が整備され、地下化が進行しているように感じる。豪雨時には、どのように逃げればよいか分かりにくい。・各市区町の河川管理者や防災担当者等にも、フォーラムに出席いただきたい。 <p>■決まったこと</p> <ul style="list-style-type: none">・フォーラムでは、さまざまな災害を起因として発生する水と関係のある災害事象(外水、内水等)を主として取り上げる。・フォーラム開催日は、平成24年1月21日(土)または22日(日)のどちらかとする。・フォーラムの開催場所は、浮間地区荒川防災ステーションとする。・昼食時には、上映会を実施できるよう調整する。・講演者を1名選定するにあたり、候補として挙げた講師のうち、水災害に詳しい方から順に調整する。・交流企画については、フォーラム全体の時間配分を考慮し、メイン企画1種類(パネルディスカッション等)の実施を基本とする。
II. 勉強会	<p>事務局より、「新河岸川流域内外のルール」について紹介、他にも流域内のルールに関する情報等があれば、事務局に連絡をいただくこととした。</p> <p>また、映像資料「フィクションドキュメンタリー荒川氾濫」を鑑賞し、フォーラムのテーマ検討と併せて意見交換をおこなった。(意見交換の内容については、上述の通り。)</p>
III. 情報交換	<p>◆事務局からの情報提供</p> <ul style="list-style-type: none">・11月3日(木)、東京芸術センター天空劇場にて「荒川放水路建設から100年シンポジウム」の開催を予定している。 <p>◆平成23年度第3回連絡会開催について</p> <ul style="list-style-type: none">・第3回新河岸川流域川づくり連絡会は、11月8日(火)または11日(金)を候補日として、清瀬市または朝霞市において開催する。

以上